

—目次—

- 2023 年度研究大会(2023 年 11 月 4 日, 5 日)自由論題報告募集
- 『ロシア・東欧研究』、『Japanese Slavic and East European Studies』投稿募集中
- 名簿作成に関わる会員情報更新のお願い(事務局より)
- 最近の理事会の議事録より

**2023 年度研究大会**  
**11 月 4 日(土)、5 日(日)**  
**京都大学にて開催**  
**自由論題報告募集**

1. 共通論題報告テーマ：「スラブ・ユーラシアの環境を考える」

2023 年度研究大会では、環境をテーマに議論します。本学会の共通論題として、このテーマはこれまで取り上げられてこなかったようですが、今日の世界においてこのテーマの重要性については言を俟たないと思います。スラブ・ユーラシアにおいてこれをテーマにするとどのような議論ができるのか、他の地域では見えないようなものが見えてくるのか、議論の展開が大変楽しみです。既に報告者、討論者、司会が次のように決まっております(演題はすべて仮題)。ご期待下さい(企画委員長・田畑伸一郎)。

第1セッション

司会：古宮路子(東京大学)

井上岳彦(北海道大学) 「環境変動下におけるカルムイク文化生態史」

中村唯史(京都大学) 「〈ロシア的自然観〉の成立とその影響」

小椋彩(非会員/北海道大学) 「ポーランド小説と都市のエコロジー」

討論者：越野剛(慶應義塾大学)

## 第2セッション

司会：田畑伸一郎（北海道大学）

大石侑香（神戸大学）「西シベリア・ハンティの生業形態と社会構造」

地田徹朗（非会員／名古屋外国語大学）「アラル海地域研究の視角：スケール、レジリエンス、コンヴィヴィアリティ」

山脇大（野村アセットマネジメント／北海道大学）「ロシアにおける環境投資と情報開示に関する一考察」

討論者：徳永昌弘（関西大学）

\*2023年度の企画委員会は、以下の会員で構成されています(五十音順)。 越野剛、小森宏美、田畑伸一郎(委員長)、徳永昌弘、中村唯史

### 2. 自由論題報告募集(6月30日締め切り)、若手会員には旅費等を支給

自由論題報告を希望される会員は、1氏名、2住所、3電話番号、4所属、5報告タイトル、6報告要旨(約400字)を6月30日(金)(必着)までに、企画委員会・田畑のメールアドレス(shin@slav.hokudai.ac.jp)へメールでお知らせ下さい。なお、応募者多数の場合は、企画委員会にて人数調整を行う場合があります。また、対面での開催を予定しておりますが、新型コロナウイルス感染症等の状況によっては変更の可能性もあります。

自由論題報告を行う若手会員に旅費等の助成を行っています。5万円を上限として、交通費、宿泊費、懇親会費などが助成の対象となり、飛行機を利用したバック旅行も適用されます。院生はもとより、専任・常勤職を持たない40歳未満の若手会員も対象となります。また、2020年度以前に助成を受けた方も再応募可能ですが、2021～2023年度の間の利用は一回のみとなります。応募する方は、報告の採択後に、学会サイトの「研究大会」ページに記載の要領に従って、学会事務局会計担当宛て申し込み下さい。多くの若手会員の皆様のご利用をお待ちしております。

## 『ロシア・東欧研究』

## 『Japanese Slavic and East European Studies』

### 投稿募集中

締め切りは9月15日

JSSEES との統合により従来からの『ロシア・東欧研究』に加え『Japanese Slavic and East European Studies』への論文、研究ノート、書評の原稿を募集しています。『Japanese Slavic and East European Studies』は欧文雑誌となっております。**応募締め切りは9月15日、原稿提出期限は11月末日**です。研究大会における自由論題報告者のみならず、多くの会員の皆様からのご投稿をお待ちしております。また、投稿時点において40歳未満の方は、自動的に若手研究者奨励賞(賞状、副賞5万円)の選考対象となります。執筆要領については、学会HPまたは学会誌巻末の「投稿規程・執筆要領」をご覧ください。

『ロシア・東欧研究』、『Japanese Slavic and East European Studies (JSEES)』は刊行後すぐに電子ジャーナル化さ

れることになりました。1972年の創刊号から、日本最大級の総合電子ジャーナル・プラットフォームJ-STAGEにて電子アーカイブ化が完了しております。

学会誌に掲載予定の書評は、学会ウェブサイトに先行掲示を行うこととなりました。また、書評用の書籍は、事務局ではなく、編集委員会宛に直接ご送付いただきますようお願いいたします。ただし、書評として取り上げるかどうかは、編集委員会の判断によります。

問い合わせ・申込み先：

\* 『ロシア・東欧研究』

jareesedboardjp@gmail.com

\* 『Japanese Slavic and East European Studies (JSEES)』

kumo@ier.hit-u.ac.jp

## 名簿作成に関わる会員情報更新のお願い

### (事務局より)

当会では、3年に1度、会員名簿の更新・作成を行っており、今年度は名簿作成の年にあたっております。ご所属・会誌発送先等の変更がありました会員の皆様におかれましては、この機会に会員情報の更新をお願い申し上げます。

○登録情報の変更は、学会HPの「会員ログイン (会員登録情報変更/年会費閲覧)」(<https://www.jarees.jp>)で行うことができます (以下のURLもご利用いただけます)。

<https://asas-sys.jp/member/login/130c62518cb71d9c7c31c8cbb068dd530720864e>

○名簿での情報公開を希望しない項目につきましては、登録情報の変更の中でお選びいただくことが可能です。しかしながらこの間、その選択肢がわかりにくいというご指摘を受けております。この点につきましては、学会HPの当該ページに関してシステム構築を委託しております業者と検討し、修正を予定しておりますが、混乱を避けるために現システムの利用を、当分の間、継続いたします。

つきましては、自宅住所のみを会員情報として登録されている会員におかれましては、名簿上での公開を希望されない場合には、「会員ログイン」ページにて、追加項目Q2.「会員名簿で非公開にしたい情報があれば・・・」で、「自宅住所」「電話」などにチェックを入れるようお願い申し上げます (ここでの「連絡先住所」とは「発送先」でございます)。ご不安がある場合には、学会事務局までメール ([jarees\\_office@yahoo.co.jp](mailto:jarees_office@yahoo.co.jp)) でご連絡ください。

○会員種別の変更は学会HP上で行っていただくことができません。お手数ですが、直接、学会事務局にお知らせください。

○会員ID、PWが不明の場合には、学会支援機構へお問い合わせください ([jarees@asas-mail.jp](mailto:jarees@asas-mail.jp))。

名簿作成の都合で恐縮ですが、2023年の名簿作成に際しての情報更新は、可能な限り2023年5月22日までにこなさせていただきますよう、お願い申し上げます。

# 最近の理事会の議事録より

最近の理事会の議事録より

(学会 HP「会議」掲載済み)

2023年3月2日(木) 16:00~17:30 Zoom

出席(敬称略): 五十嵐徳子、宇山智彦、大串敦、神原ゆうこ、小森宏美、下斗米伸夫、田畑伸一郎、中村唯史、浜由樹子、廣瀬陽子、藤原克美、松里公孝、道上真有、ヨコタ村上孝之(14名)、志田仁完(会計担当)、立石洋子(Web/NL担当)

欠席: 油本真理、安達祐子、鴻野わか菜、乗松亨平(委任状あり)

欠席: 服部倫卓、湯浅剛(委任状なし)

司会: 宇山智彦副代表理事

○五十嵐徳子代表理事の挨拶があった。

## 審議事項

### 1. 会誌について

(1) 欧文誌: 雲和広編集委員長から進捗状況について報告があり、続いて、2022年度研究大会共通論題での報告の一部を英語論文として同誌に寄稿するという新たな試みに関し、編集過程で生じた諸問題についての共有があった。これに対し、執行部からは、関係者間での連絡がうまく取れていなかった点についての反省が述べられ、そうした反省を踏まえ、編集委員会に負担のかからないようサポートするなどしたい旨の発言があった。これに対し理事から、英語論文の寄稿を共通論題パネルの一つでの報告の条件にすることで、報告者集めの難航につながらないかという懸念が指摘され、執行部から、共通論題以外の形で英語パネルを組む可能性を含め随時検討をしつつ、無理のない形でやっていきたい旨コメントがあった。なお、2022年度総会で提案された同誌についてのアンケートについては、必要性について再検討し、当面は実施しないこととした旨報告があった。

(2) 和文誌: 浜由樹子編集委員長から進捗状況について報告があった。

2. 退会者3名、休会・休会継続者4名について事務局より報告があり、承認された。3年以上会費滞納者については、本人に確認の上、規定通り進めることが承認された。

3. 2022年度予算/中間決算と2023年度予算について資料に基づき志田仁完会計担当から報告があり、承認された。

4. 2022年度研究大会の会計について道上真有理事・大会組織委員長から報告があり、了承された。

### 5. 2023年度研究大会

(1) 中村唯史組織委員会委員長より、準備状況について報告があった。

(2) 大会企画委員について、田畑伸一郎理事が委員長となり、中村理事が委員となることが承認された(その後、越野剛会員、徳永昌弘会員、小森理事が追加で委員として承認された)。共通論題は、環境に関わる経済・歴史・文学等にまたがるテーマとすることになった。

6. 研究奨励賞に関し、ヨコタ村上孝之理事が選考委員会委員長となり、小森理事が委員となることが承認された(その後、富樫耕介会員、蓮見雄会員、前田弘毅会員が選考委員として承認された)。

## 報告事項

1. JCREESについて、2023年1月26日開催の第53回幹事会、サマースクール、スラブ・ユーラシア研究東アジア

ア大会について五十嵐代表理事から報告があり、松里公孝理事から後者について補足説明があった。

2. JCAS、JCASA について、小森担当理事より報告があった。

3. その他として、2023 年度に名簿作成が予定されている旨の報告があった。

以上

#### 《編集後記》

2023 年度研究大会の自由論題の募集が始まりました。今年度の研究大会は、コロナ禍前に戻した形での開催を予定しております。会員の皆さまのご参加をお待ちしております。11 月初旬ということで京都は特に混雑が予想されますので、お早めに宿泊先を確保することをお勧めいたします。

また『ロシア・東欧研究』、『Japanese Slavic and East European Studies』への投稿も募集中です。よろしくお願いたします。

**ロシア・東欧学会ニュースレター 第 45 号 (2023 年 5 月発行)**

**《発行》ロシア・東欧学会事務局 立石洋子・小森宏美**

郵便物送付先：〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1  
早稲田大学教育・総合科学学術院 小森宏美研究室気付  
E-mail : jarees\_office@yahoo.co.jp HP : <http://www.jarees.jp/>

ゆうちょ銀行（加入者名：ロシア・東欧学会）：  
郵便局での払込：00150-8-177731 他行からの送金：019 店 当座預金 017731

事務局会計担当（志田仁完） email: [kaikei@jarees.sakura.ne.jp](mailto:kaikei@jarees.sakura.ne.jp)  
学会支援機構（ロシア・東欧学会事務委託先） email: [jarees@asas-mail.jp](mailto:jarees@asas-mail.jp)  
よくあるご質問 <http://www.jarees.jp/faq/>